

保護者の皆様へ

愛西市立佐屋小学校長
嶋藤 真由美

学校評価 保護者アンケート結果について（お知らせ）

弥生の候、保護者の皆様には、日々、学校教育にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

ご多用のところ、保護者アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。多岐にわたり、たくさんのご意見をいただきました。次年度からの佐屋小学校の指針としていきたいと思ひます。

1 保護者アンケート結果（3年間の推移）

4段階評価

教育計画・指導		評価		
番号	評価項目	4年度	5年度	6年度
1	学校は、読み・書き・計算などの基礎学力定着のため、きめ細かい指導を行っている。	3.11	3.13	3.05
2	学校は、一人一人を大切にした授業を行っている。	2.94	3.08	2.97
3	学校は、楽しく分かりやすい授業を行っている。	3.08	3.13	3.08
4	学校は、ICT機器（コンピュータ、タブレット、インターネット、プロジェクター、実物投影機など）の使用によって、学習効果を高めている。	3.04	3.12	3.07
5	学校は、子どものよさや努力したことなどを認めている。	3.21	3.26	3.26
6	学校は、「生きる力を育む」というねらいをもって指導している。	2.91	2.96	2.98
7	学校は、外国語・外国語活動や情報教育を、ねらいをもって効果的に行っている。	2.77	2.74	2.71
8	学校は、活動内容の充実した行事を計画し、しっかりと運営している。	3.16	3.14	2.98
学校経営		評価		
番号	評価項目	4年度	5年度	6年度
9	学校は、児童の不適切な言動に対し、きちんと指導している。	2.94	3.02	2.97
10	学校は、困ったことや悩みなどを理解し、誠実に対応している。	3.06	3.13	3.08
11	学校は、いじめの早期発見・再発防止に力を入れている。	2.92	2.99	2.94
12	学校は、子どもたちが安全に安心して過ごすことができるようにしている。	3.29	3.20	3.16
13	学校の施設・設備はきちんと整っている。	2.94	2.80	2.69
14	学校は、教育活動の様子や情報を保護者にきちんと伝えている。	3.00	3.06	3.01
15	学校は、「開かれた学校」に向けて努力し、保護者・地域の願いに応えている。	2.96	3.00	2.91
子どもたちの育ち		評価		
番号	評価項目	4年度	5年度	6年度
16	子どもたちは、いろいろなことに意欲的に取り組んでいる。	3.11	3.15	3.08
17	子どもたちは、楽しく学校に通っている。	3.35	3.34	3.24
18	子どもたちは、きちんとあいさつをしている。	2.89	2.92	2.85
19	子どもたちは、交通ルールをきちんと守っている。	2.98	2.94	2.84
20	子どもたちは、ていねいな言葉遣いをしている。	2.50	2.54	2.44
	合計	3.01	3.03	2.96

回答数363 回答率83.3%（昨年度回答数373 回答率89.0%）

- ➡ 本年度の評価は、昨年度と比べ1項目で高い評価となり18項目で低い評価となりました。
- ➡ 「教育計画・指導」は、項目5が最も高い評価でした。これは全項目の中でも一番よい数値です。日頃から担任をはじめ、すべての教職員で子どもたちのよさを認めることを意識して教育活動を行っておりますので、この結果については大変うれしく思います。一方で項目7が最も低い評価でした。外国語の指導は専科の教員とALTが協力し、専門的な指導をすることができていますが、保護者の方が実感できるところまでにはいっていないようです。
- ➡ 「学校経営」は、項目12が最も高い評価でした。子どもたちにとって安心・安全な環境を整えることは、学校教育の土台となる部分ですので、大切にしていきたいと考えています。一方で項目13

が最も低い評価でした。施設の老朽化が年々進んでいるためか、下がり続けています。現在、老朽化対策として「佐屋小学校準備委員会」が開催され、数年後の校舎の改築及び建替に向けて話し合いが進められています。新校舎になれば、改善される部分も多いと思われますが、それまでは現校舎を工夫しながら使用する以外に方法がないというのが現状です。しかし、児童の安全に関わる部分については市教委と相談しながら優先的に対処していきます。

- ➡ 「子どもたちの育ち」は、項目17が最も高い評価でした。これは学校としては最もうれしい結果です。今後も子どもたちが笑顔で登校、満足で下校できるように努め、子どもたちのウェルビーイングを大切にして取り組んでいきます。一方で項目20が最も低い評価でした。この項目が本校の一番の課題であると思います。自由記述に「教師の言葉遣いが悪い」というご指摘もございましたので、気を付けながら指導にしていきます。ただ、学校からの指導だけでは改善は難しいと思われます。ご家庭でも折に触れて、相手が誰であっても、尊重し大切にすることを言葉遣いができるようにご協力をお願いいたします。

2 保護者の皆様の主な声

- 先生方の働き方改革や、コロナ禍の影響もあってか、行事が縮小されすぎてとても寂しく感じます。運動発表会では、各学年ダンスと徒競走のみ。佐屋小学校に通った子どもたちは、玉入れや綱引きなど、一般的な運動会の経験をすることなく卒業してしまいかわいそうだなと思います。
- 運動発表会で取り組む種目が少なく、競うものも少なく、先生たちの盛り上がりもあまり感じられなくて残念でした。もっと子どもたちの思い出に残るような、子どもたちがみんなで頑張っているような行事にしてみたいです。

➡ 少し大きな話になりますが、学校は憲法・法律に則り、教育活動を行っています。昔はその縛りが緩く様々な面でおおらかな時代でした。そのため、学校は保護者や地域の願いを際限なく受け入れ、教員が無理な働き方をして様々な業務を肥大化させていきました。そのため、メディアで報道されている通り、教員の仕事は激務となり精神疾患による病気休職者数が年々増加しているという現状に陥っています。しかし、徐々にコンプライアンスが重視され、様々な面で厳しい時代となってきました。学校の働き方改革もこの流れの中で進められ、学校が本当にすべき業務以外の肥大化した部分を見直し、精選・縮小するように文科省から次々に通知が出されています。保護者の方からは、学校にできないことが増え、「依然、できていたのになぜできないのか」「職務怠慢ではないのか」と見えているかもしれませんが、それは本当は本来の業務を超えてサービスし過ぎてしまっただけなのです。ただ、それはかつての時代の要請に合っていたもので、無意味だったとは思いません。きっと今の時代に行っても意味のあるものにはなると思います。しかし、それは学校（教員）が頑張り過ぎて働いていたことによって支えられていたということも事実です。残念ながら、今の時代と同じことを行うことはできません。メリットがないから行わなくなったのではなく、時代の変化によってデメリットが大きくなったから行わなくなった、もしくは行えなくなったというのが正しいかもしれません。

「時代が変わった」この一言に尽きると思います。便利な言葉ですが、軽々しく使っているつもりはありません。私も教員として20年以上学校現場を見ていますが、学校を取り巻く状況は年々厳しくなり、各種メディアの報道等によって学校の力が弱められているという実感があります。子どもも保護者も教員も世の中の状況も全てが20年前とは変わりました。多様性を大切にするようになり、子どもたちの中には、発表会などの皆で力を合わせて同じように行動することを求められ、多くの人に見られる学校行事を苦痛に感じる子が増えていると感じます。実際に、運動会やかつての学習発表会、マラソン大会などの練習が始まると欠席者や心身が不安定になり不調を訴える児童の数が年々増加していました。子どもたちに苦痛を与え「学校に行きたくない」と思わせてしまうのは本意ではありません。

これからの予測不能な社会を生きる子どもたちには、かつてのような発表する力ではなく、一人一人の個性を尊重し、多様性を認め合い、協働する力が求められています。我々の教育活動の指針となる学習指導要領もそのような時代の要請に合わせて変わり続けています。時代が変わっても大切なものがあることも事実です。それを見極めることは非常に難しいことですが、常に学校に突きつけられている問題です。学校としては目の前の子どもたち全員にとって望ましいことは何なのかを現状に合わせて判断し、保護者の皆様とともに考え、迷いながらも進んでいくしかないと考えています。

ただ現在、多様な他者とそれぞれのよさを認め合い、協働する場面を保護者の方に見ていただく機会は少ないと思います。そのため、運動発表会の徒競走をやめ、皆で協力して取り組む学年競技種目を行うことも考えていきたいと思っています。また、その他の学校行事についても、決められた枠組みの中ではありますが、子どもたちがわくわくして意欲的に取り組み、盛り上がって思い出に残るものになるように改善していきたいと思っています。

- 学校のトイレが汚いと言っている。子どもが掃除するのは日本の良い文化だと思うが、衛生面の配慮は大人がすべきだと思う。
- 子どもが「古いトイレが怖くて行けない」と言っていますので、いつかリフォームしていただけたらうれしいです。
- ➡ 現在、南館の1～3階の西側にあるトイレのみ改修が行われず、古いトイレのまま残っています。前述した通り、現在、老朽化対策として「佐屋小学校準備委員会」が開催され、数年後の校舎の改築及び建替に向けて話し合いが進められているため、大規模な改修は難しい状況です。

先日、6年生の奉仕作業の際におやじの会の方に協力していただいて、全力できれいにしていた

だきましたが、やはり経年劣化による黄ばみ等はとることができませんでした。根本的な解決にはなりません、今後も校務補助員などの大人の力を入れ、定期的に清掃をしていきます。もし、保護者の方の中で清掃ボランティアをやってもよいという方が見えたら、ぜひ学校までご連絡ください。

- 現在、佐屋小学校では室内シューズが指定ですが、指定されている理由はなぜでしょうか。現在、指定のものは、一般的なビニール上履きと比べて値段も高いですし、汚れやすく、洗っても乾きにくく、保護者の評判はよくありません。
 - ➡ この件については、昨年度の学校評価でも反対の意見が複数出ていたため、昨年度の内から業者との交渉に入っておりました。今のところ令和8年度（再来年度）から、現在の指定をなくし、一般的な「白色のバレエシューズ」とする予定です。あまり早くお知らせすると、在庫をかかえている業者にご迷惑を掛ける恐れがあるため、公表を控えておりました。多様性の時代になりましたので、今後も様々な物品の指定の解除に向けて前向きに進めていきます。

3 今後の取組について

保護者アンケートを通してたくさんのご意見をいただきありがとうございました。自由記述については、すべてのご意見にお答えするのが本意ではございますが、紙面の関係上、主なものに限らせていただきました。すべての意見について検討し、フィードバックは行っておりますので、気になる点につきましては、いつでもお問い合わせください。また、「意見を述べる機会が学校評価しかない」とのご意見もありましたが、いつでも受け付けておりますので、お気付きの点等がございましたら、随時ご遠慮なくお知らせください。

今後とも、子どもたちのために、使命感をもって、精一杯努力して参ります。ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。